

鹿児島市 2026年度予算 総額5,301億8,100万円

就学援助事業 1,493万円 負担増

支給対象者の認定基準（所得要件）の見直し。現在の生活保護基準×1.35を段階的に1.30に引き下げ。
認定者数 9,126人（2024年度）
2026年度
1.35→1.33 対象外となる児童数 238人

市民福祉手当 2億6,000万円 負担増

重度障害者・児および交通遺児に対して昭和45年から支給している市独自の制度。
年額24,000円を12,000円に半減。
※障害者は10月、そのほか来年4月から
利用者数 20,127人（2024年度）

敬老パス事業 3億2,800万円 負担増

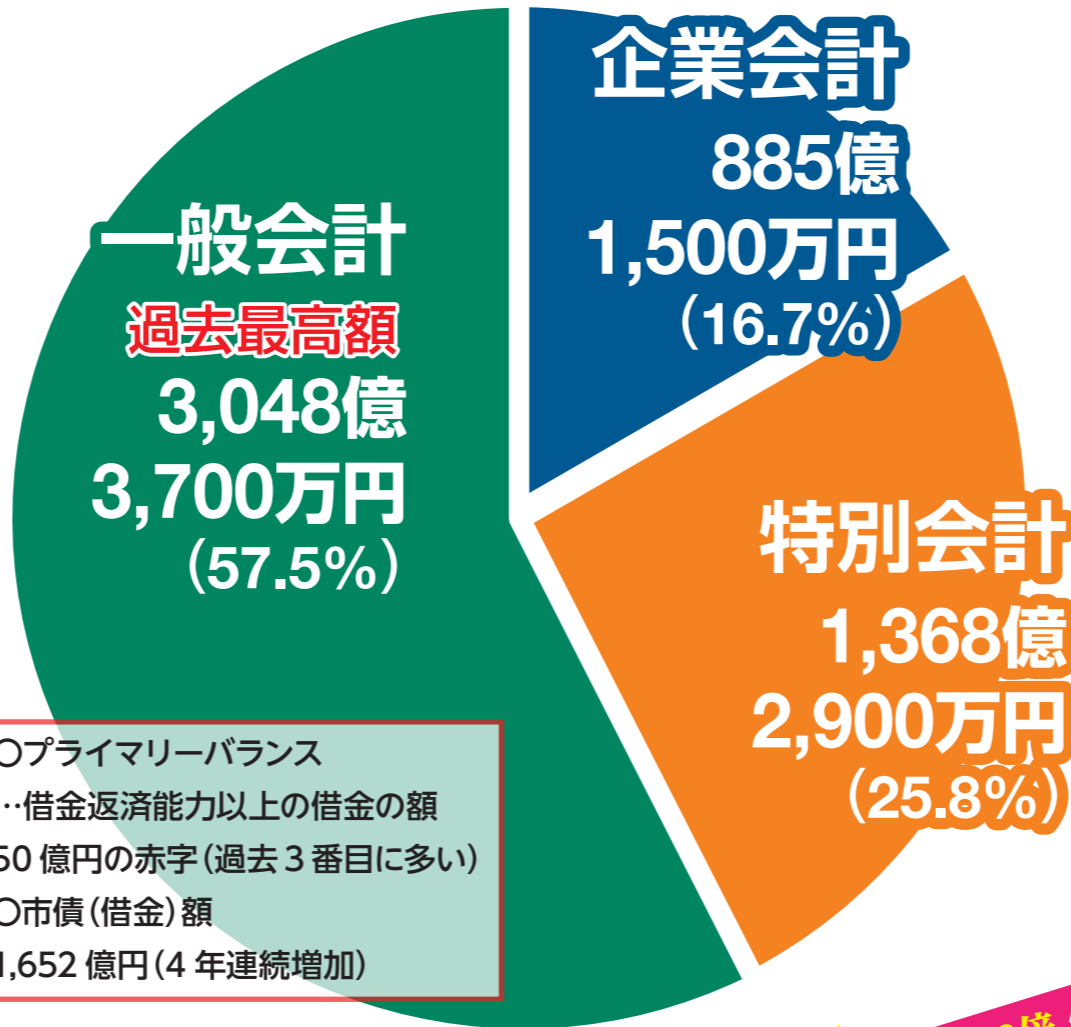
これまで市・交通事業者・市民が3分の1ずつ負担していましたが、民間バス事業者の分を市民負担に。来年2月から3分の2となり2倍の負担に！
利用者数 52,808人（2024年度）

市営住宅駐車場使用料 5,832万円 負担増

2年間の経過措置が終了。月額使用料の負担が2倍に。
旧市域 1,000円→2,000円
それ以外 550円→1,100円

その他の負担増(特に高齢者福祉) 負担増

- 寝たきり高齢者等理髪・美容サービス事業
年3回利用が一番多いにもかかわらず年2回に削減
- 寝たきり高齢者等寝具洗濯サービス事業
年3回利用が一番多いにもかかわらず年1回に削減
- 紙おむつ等助成事業
上限額を10万円から75,000円(要介護4・5)に削減
- 高齢者福祉バス
昨年3台から2台に。新年度は2台を1台に削減



市民負担総額 **28億円!!** ※7年度の2倍
市民一人当たり **4,832円**



日本共産党市議団は、約24億円の鹿児島アリーナのエンターテインメント施設の整備をやめれば、8年度は敬老パスや就学援助を現状維持できるのではないかと指摘しました。

市電運賃値上げ 1億8,900万円 負担増

市電の運賃を現行の170円から200円に値上げ。
8年度見込み 1,183万3,000人



国民健康保険税 6億4,000万円 負担増

昨年度に引き続き、税率改定による負担増

	所得割	均等割	平等割
基礎課税額	8.26% 0.15%↑	34,600円 3,900円↑	23,000円 400円↑
後期高齢者支援金	2.94% 0.06%↑	12,200円 1,500円↑	8,100円 300円↑
介護納付金	2.47% 0.04%↓	12,000円 900円↑	6,100円 200円↓

※税率改定の影響は3億6,000万円
※子ども子育て支援金の影響は2億8,000万円

後期高齢者医療 13億4,781万円 負担増

保険料改定による負担増

	2024~2025	2026~2027	負担増
所得割率	11.72%	11.72%	据え置き
均等割額	59,900円	69,800円	9,900円↑
賦課限度額	80万円	85万円	5万円↑

子ども子育て支援金制度の新設による負担増

	負担増
所得割率	0.25%↑
均等割額	1,400円↑
賦課限度額	21,000円↑



※鹿児島県全体の被保険者一人当たり保険料額は73,176円から86,091円の14,315円の負担増